

「言葉による見方・考え方を働かせ、
確かな資質・能力を身に付ける
国語科学習の創造(理論と実践)」

研究推進部

1 研究推進部での取り組み

○研究主題
「言葉による見方・考え方を働かせ、
確かな資質能力を身に付ける国語科学習の創造」
○副主題
深い学びに到達する
「見方・考え方」を踏まえた単元づくりの在り方

視点1
単元計画

視点2
領域ごとの姿の
具体化・系統化

視点3
導入、展開、終末での
姿の具体化・系統化

視点4
児童がメタ認知する
ための手立て

視点5
学習評価との関連性

視点6
年間指導計画の工夫

1 研究推進部での取り組み

<研究推進部では>

領域ごとの
整理・系統化

<授業改善部では>

視点2
領域ごとの姿の
具体化・系統化

姿の見取り・蓄積
・手立ての分析

学習過程ごとの
整理・系統化

視点3
導入、展開、終末での
姿の具体化・系統化

姿の見取り・蓄積
・手立ての分析

姿の
整理・系統化

視点6
年間指導計画の工夫

実践や児童の姿を
基にした手立ての
分析

⇒「言葉による見方・考え方」の具体化・明確化

2 なぜ「見方・考え方」が大切なのか

○「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を
次の通り育成することを目指す。(以下略)

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』より

2 なぜ「見方・考え方が大切なのか

○「見方・考え方」とは

- ・深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になること。
- ・各教科の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方であること。
- ・各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と社会とをつなぐもの。
- ・児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることこそ、教師の専門性が発揮されることが求められること。

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』より

2 なぜ「見方・考え方が大切なのか

○「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を
次の通り育成することを目指す。(以下略)

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』より

国語科の授業を成立させるための条件

「言葉による
見方・考え方」を
働かせること

言語活動を
位置付けること

3 「言葉による見方・考え方」とは

「言葉による見方・考え方」

○「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること（以下略）

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』より

3 「言葉による見方・考え方」とは

○「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

言葉により見方・考え方を働かせている例

- ・言葉の意味を知り、状況に応じて使い分けて関連付けている。
- ・文章の書き方や使う言葉を吟味している。
- ・相手意識をもって話す言葉を選んでいる。
- ・分かりやすい語句に書き換えるなど言葉を取捨選択している。
- ・自分の意見をもつために、根拠を明確にして考えを書いている。
- ・他者との交流や相互評価を通して新たな自分の考えに気付いている。

『横浜市立学校 カリキュラム・マネジメント要領 国語科編』より

3 「言葉による見方・考え方」とは

○見方・考え方が何の教科の学習が決める

【理科の見方・考え方】

- ・エネルギー
：主として量的・関係的な視点
- ・粒子
：主として質的・実体的な視点
- ・生命
：主として共通性・多様性の視点
- ・地球
：主として時間的・空間的な視点

理科の見方・考え方が働かせていない

同じようにおしりから液体を出す昆虫がいそうだ。

えさのとりがたは、昆虫によっていろいろありそうだ。

3 「言葉による見方・考え方」とは

○見方・考え方が何の教科の学習が決める

この文章には、どんなことが書いてあるのか、**「問い」の文を探せば**分かりそうだ・・・

実験の順番は「はじめに」「次に」「さらに」などの**「つなぎことば」に着目**したら分かりやすい。

「問い」の書かれた段落に対して、「りゆう」や「こたえ」の書かれた段落もあるな。

4 これまでの研究について

提案①

○言葉による見方・考え方とは、**「言葉にこだわって、理解したり、表現したり、味わったりすること」**

提案②

7つの視点×学習過程で言葉による見方・考え方に迫るために、**「言葉による見方・考え方マトリックス」の作成**

4 これまでの研究について

<研究推進部では>	視点②	<授業改善部では>
領域ごとの整理・系統化	領域ごとの姿の具体化・系統化	姿の見取り・蓄積・手立ての分析
学習過程ごとの整理・系統化	視点③ 導入、展開、終末での姿の具体化・系統化	姿の見取り・蓄積・手立ての分析
姿の整理・系統化	視点⑥ 年間指導計画の工夫	実践や児童の姿を基にした手立ての分析

4 これまでの研究について

〇7つの視点×学習過程で、言葉による見方・考え方を明らかにする

「白いぼうし」シリーズを読んで紹介する。言葉にこだわって観望したり、表現したり、味わったりしているイメージ

7つの視点

視点	学習過程	見方・考え方
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

学習過程

4 これまでの研究について

〇7つの視点×学習過程で、言葉による見方・考え方を明らかにする

- <理解する>
 - ①言葉の意味や、働き、使い方という切り口を視点に、理解している姿
 - ②相手や目的を考えて、言葉に着目しながら、内容や意図を捉えている姿
 - ③自分の思いや考えのもとになっている言葉を明らかにしている姿
- <表現する>
 - ④言葉の意味や働き、使い方を理解して、自覚的に活用している姿
 - ⑤相手や目的を意識して、言葉や表現を工夫している姿
 - ⑥自分の思いや考えを表す適切な言葉を選んでいる姿
- <味わう>
 - ⑦言葉や表現の工夫をじっくりと味わっている姿

4 これまでの研究について

〇7つの視点×学習過程で、言葉による見方・考え方を明らかにする

7つの視点

3つの実践提案

視点	学習過程	見方・考え方
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

学習過程

【低学年】
「1年生にもよく分かる、おもちゃ作りのせつめい書を書こう」

【中学年】
「みんなで発見 ファンタジーの面白さ～作品の中で起こるふしぎについて「ナノとき交流会」で語り合おう～」

【高学年】
「私たちから始めよう 6年STARプロジェクト～今できることを考えて学年の友達に提案しよう」

「見方・考え方」はボーリングで言えば、これ！！



ストライクを取るために、意識するとよい通過点

↑
スパット

「言葉による見方・考え方」は、「深い学び」の到達に至る目印